

月例会ダイジェスト【46】

働き方改革が徐々に企業に浸透していく中、経営側の従業員に対する健康配慮も進みつつある。だが、それは大企業が中心で、資金繰りに余裕のない中小企業の多くは立ち遅れてしまっている。今回のさんぽ会は「私たちが考える中小企業の産業保健プロモーション」をテーマに、東京商工会議所（以下、東商）の藤田善三氏を講師に招いて開催された。コーディネーターは坂本宣明氏（ヘルスデザイン株式会社）、斉藤和毅氏（株式会社ロベリア）、白田千佳子氏（協会けんぽ千葉支部）の3人。

前半、講演に立った藤田氏はまず、中小企業が取り巻く厳しい環境と労働事情について説明した。昨年1年間の有効求人倍率が1.50と44年ぶりの高さで人材難が顕著になっていることに加え、「働き方改革により大企業が長時間労働をやめた分、中小企業に業務を委託することで、中小企業が長時間労働を強いられる事例が出てきている」と、働き方改革が逆に中小企業の負担になりかねない一面を指摘した。

藤田氏は、次に中小企業の健康経営の現状に言及し、東商の昨年7月の調査で、実践企業の割合は低いものの、中小企業の67.1%が「いずれ健康経営を実践したい」とし、「潜在的ニーズは認められる」と述べた。ただこれは、販路開拓や資金繰りなど他の経営課題のほうが優先度が高いため、「いかに健康経営を実践に持っていかかわれわれの課題」と語った。

その上で、藤田氏は東商が力を入れて取り組んでいる「健康経営アドバイザー制度」について、3社の事例を交えて紹介した。この制度は、健康経営に関する研修を受け認定された経営者や中小企業診断士等をアドバイザーとして中小企業に派遣し、健康経営の重要性を説明し、課題に対する具体的な施策を提案・実践支援するもの。技術職に就きたいベテラン管理職と、管理職に就きたい若手がいるミスマッチから年功序列の従来体制を改編したケースや、収入アップのために長時間労働を望む従業員がいるケースなど、個別の社員面談で明らかになることも多い。東京都の委託を受けた事業では、都議会の承認が必要なものの、今後3カ年で1,000社へのアドバイザー訪問支援を予定し、「企業の変化を検証していく」とした。そして、藤田氏は「商工会議所が応援するのは50人未満の会社が大半。労働安全衛生法上は努力義務で、労働基準法もよく分かっていない企業もある。経営の視点でいかに従業員の健康管理を考えていくか、経営者、人事・労務担当者の方と共に進めていきたい」と結んだ。

と結んだ。

続いて、坂本氏が嘱託産業医の立場で中小企業における産業保健のアウトソーシングについて解説した。日本の事業所の99.7%が中小規模事業所である実態を示し、中小企業を外部からサポートする重要性を強調。産業保健分野でアウトソーシングできる項目として、健康相談、安全管理、社内体制づくりなどを例示した。アプローチのポイントは、「『お困りごとは何ですか』といった姿勢でのヒアリングが大切。追い風となるキーワード『健康経営』をうまく使い、中小企業に入り込み盛り上げて欲しい」と呼びかけた。

後半は、中小企業の健康課題を解決するグループワークが行われた。提示されたのは、運送業と小売業のそれぞれ異なる問題点を抱える2社の事例。参加者が4、5人ずつに分かれ、相談を受けたコンサルタントのチームになった想定で課題を議論した。その結果まとめられた解決策の発表では「ニーズを汲み取る。過重労働対策を行う。人材教育を実施する」といった基本的な助言から、「各店舗で健康づくりをするための取組みを考えてもらってコンテスト形式で評価する」「ドライバーは腰痛になる人が多い。マッサージチェアを置くことで『従業員を大事にしている会社』と思ってもらう」など多様なアイデアも飛び出した。坂本氏は、これらの発表を受けて、「目的が曖昧だと単なるアイデア出しで終わってしまう。あくまで課題を解決するという目的をしっかり持つことが重要」と講評した。

最後に、藤田氏が「今後、大企業の健康経営が進むと、取引先の中小企業にもそれを求めるようになると思う。それは環境を守ることを相手先に求めるのと同じ流れ。皆さんが持つノウハウを惜しみなく中小企業にご提供いただきたい」と締めくくった。

今回の月例会では、中小企業が抱える多くの課題が浮き彫りになった。「ヒト、モノ、カネ…」で始まる経営資源のうち、産業保健の観点で何が最も重要かを言い当てることは簡単だ。ただ、そう単純には答えられないほど、中小企業経営者の悩みは多岐にわたり、深い。参加者は、産業保健の枠にとられない、総合的な課題解決が求められる実情を感じ取る貴重な時間を過ごしたのではないだろうか。



藤田善三氏(左)
坂本宣明氏(右)

さんぽ会の詳細は下記サイトをご覧ください。
 ● ホームページ <http://sanpokai.umin.jp/>
 ● FB ページ <http://www.facebook.com/sanpokai>